様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	5-(3)-ア	国際感覚を身に付ける教育の推進	施　策	②多様な国際交流及び国際理解教育の推進
			施策の小項目名	○国際理解教育の推進・充実
主な取組	国際協力レポーター事業（おきなわ国際協力人材育成事業）		対応する成果指標	海外との交流活動等を行っている高等学校数
施策の方向	・グローバルな現代社会においては、多様な文化、価値観を持つ多種多様な人々との接点が多くなることから、多様な文化、価値観を正しく理解して、相手を尊重する国際理解教育の推進に取り組みます。外国語と深い関わりのあるOISTやJICA沖縄等との連携、海外との文化交流等を通じて、異なる言語や文化等について理解を深め違いを尊重する国際理解教育の充実と外国語コミュニケーション能力の向上に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
高校生を発展途上国に派遣し、現地の国際協力活動の現場視察や国際協力を行う政府機関やNGOとの意見交換、現地の人々との交流を通して、県内高校生の国際協力への関心を喚起する。	県	開発途上国等の国際協力活動現場等に高校生を派遣		
		高校生の開発途上国等への派遣人数（累計）		
		11人	39人（50人）	39人（89人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	おきなわ国際協力人材育成事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	27,920	27,814

予算事業名	おきなわ国際協力人材育成事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	28,855

令和6年度活動内容

国際協力レポーター事業で県内高校生を発展途上国へ派遣する。

令和7年度活動計画

国際協力レポーター事業で県内高校生を発展途上国へ派遣する。

活動指標名	高校生の開発途上国等への派遣人数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県内の高校生１６名を７月２９日から８月８日までの１１日間カンボジア王国へ派遣した。現地のNGO団体やNPO法人、JICA海外協力隊の活動現場等へ訪問した。
	11人	16人（27人）	16人（43人）	39人（89人）	41.0%	大幅遅れ	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

予算減により、途上国に派遣する高校生の人数が減少している。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
事業費の中で節減可能な経費を洗い出す等見直しを行い、派遣人数の増に努める。	経費について見直しを行ったが、物価や旅費の高騰等で派遣人数を増やすことはできなかった。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	予算の大幅減に伴い活動指標目標値を実現することが厳しい中、節減可能な費用を洗い出すことで人数の増に努めたが、旅費の高騰等により人数を増やすことができなかった。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	引き続き予算要求を行うとともに、節減可能な費用を洗い出し、派遣人数の増に努める。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	5-(3)-ア	国際感覚を身に付ける教育の推進	施　策	②多様な国際交流及び国際理解教育の推進
			施策の小項目名	○国際理解教育の推進・充実
主な取組	国際協力理解促進事業（おきなわ国際協力人材育成事業）		対応する成果指標	海外との交流活動等を行っている高等学校数
施策の方向	・グローバルな現代社会においては、多様な文化、価値観を持つ多種多様な人々との接点が多くなることから、多様な文化、価値観を正しく理解して、相手を尊重する国際理解教育の推進に取り組みます。外国語と深い関わりのあるOISTやJICA沖縄等との連携、海外との文化交流等を通じて、異なる言語や文化等について理解を深め違いを尊重する国際理解教育の充実と外国語コミュニケーション能力の向上に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
国際協力にかかる出前授業を県内中学校・高校で行い、県内の学生の国際協力への関心を高める。また、国際協力レポーター派遣参加者がいる高校では、参加者による発表も併せて行う。	県	JICA海外協力隊員経験者等を県内中学校・高校に派遣し、出前講座を実施		
		国際協力に関する出前講座の実施校数（累計）		
		20校	20校（40校）	20校（60校）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	おきなわ国際協力人材育成事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	27,920	27,896

予算事業名	おきなわ国際協力人材育成事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	28,855

令和6年度活動内容

県内の中学校・高校において、合計20校以上で国際協力等に係る出前講座を行った。

令和7年度活動計画

県内の中学校・高校において、合計20校以上で国際協力等に係る出前講座を行う。

活動指標名	国際協力に関する出前講座の実施校数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		県内中学校・高校で国際協力に関する出前授業を行った。
	21校	21校（42校）	20校（62校）	20校（60校）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内中学校・高校における国際協力に関する出前授業の実施について、目標値20校に対して実績20校だったことから、「順調」と判定した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○各種広報媒体（ラジオ出演、SNS）を有効に使用することで、本事業の周知の強化に引き続き取り組む。	国際協力レポーター事業の参加者によるラジオ出演の機会を計８回設けたことや、SNSによる情報発信を強化したことにより、フォロワー数を前年度比135%まで増やすことができ、昨年度に比べて国際協力・国際貢献に関心のある層へと広く周知することができた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	高校に比べ、中学校での出前事業が少ないため、中学校への実施に向けて改善策を立てる必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	中学校での実施が少ない要因の把握や改善点を洗い出し、中学校での出前講座実施校を増やすための取り組みを行う。